

1. 2017年版「わがトコ・わがコト」調査について

海士町は、2009年に策定された第四次海士町総合振興計画『島の幸福論』にもとづき、「海士らしい笑顔の追求」とそのために必要な「自分たちの島は自ら築く」という挑戦の意志を重視したまちづくりを行っている。また、この思いは、2015年の海士町創生総合戦略（海士チャレンジプラン）にも引き継がれている。

本調査の目的は、実際に海士らしい笑顔は増えているのか、「自分たちの島は自ら築く」という気運は高まっているのかを調べることで、今後のまちづくりの参考にすることである。また2019年に策定予定の「第五次海士町総合振興計画」にも活かすことを視野に入れている。

2. 調査概要

調査方法 郵送調査法

調査期間 2017年3月31日から4月14日

母集団 20歳以上の海士町住民（サンプリング台帳は住民基本台帳を使用）

サンプルの抽出方法 年齢層別無作為抽出¹

サンプル数 494

調査票回収集 232票（回収率47%）²

3. 調査結果

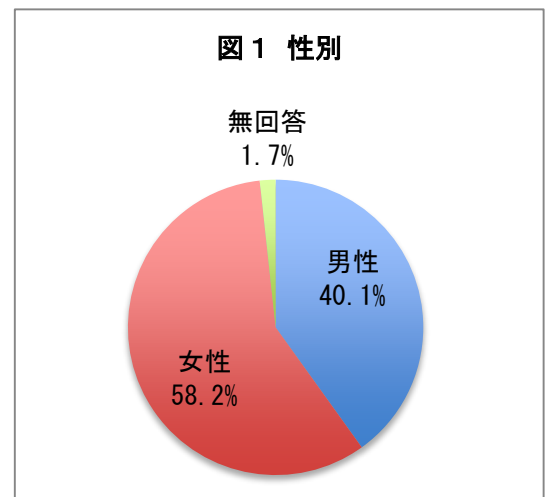
3.1 回答者について

性別

女性の回答者の方が多い

性別は男性40.1%(93名)、女性58.2%(135名)、無回答1.7%(4名)、と女性の回答者が多かった。

2015年の国勢調査によると、海士町全体では、男性47.9%(1,125名) 女性52.1%(1,228名)。実際の人口よりも女性の回答者の割合が高い。



年齢

回答者の年齢構成は母集団（調査対象者）の構成とほぼ同じ

年齢は、20～39歳は39名(16.8%)、40～59歳は63名(27.2%)、60～79歳は84名(36.2%)、80歳以上は43名(18.5%)、無回答は3名(1.3%)であった。

¹ 本調査では、対象者の回答傾向を考慮して、以下の抽出率でサンプリングを行った。20～39歳35%、40～59歳30%、60～79歳20%、80歳以上20%

² 海士町の人口は2,354人（2015年国勢調査より）。

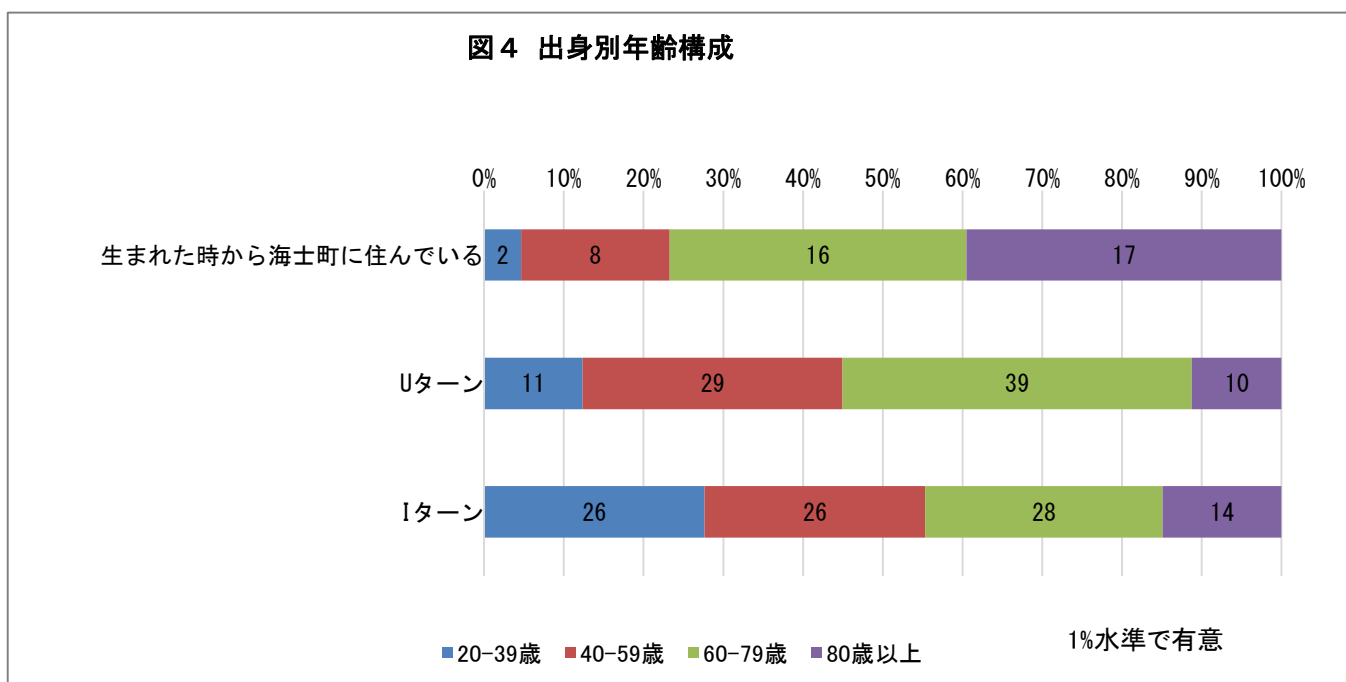
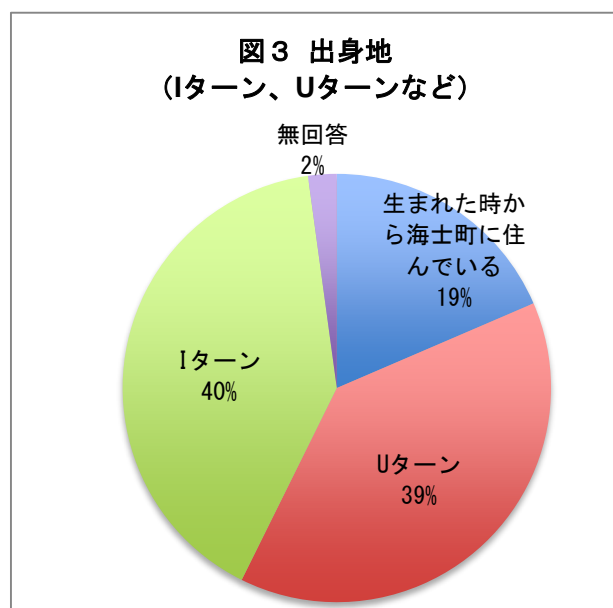
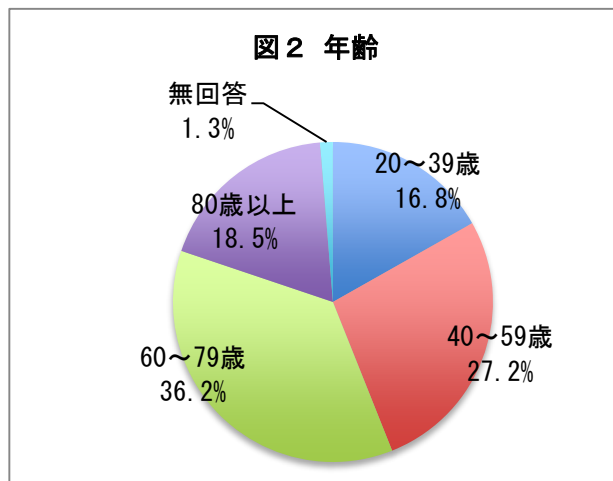
なお、本調査では調査概要に記した通り、回答傾向を考慮して年齢層により抽出率を変えている。その結果、母集団の年齢構成(20～39歳 18%、40～59歳 25%、60～79歳 39%、80歳以上 18%) とほぼ同じ構成の回答を得ることが出来た。

出身地 (Iターン、Uターンなど)

生まれた時から海士町に住んでいる回答者は 43 名(18.5%)、海士町で生まれて離れていたが戻ってきた人(Uターン)は 90 名(38.8%)、海士町以外で生まれ移住した人(Iターン)は 94 名(40.5%)、無回答は 5 名(2.2%)であった。

なお、Uターン者、Iターン者に何年前から海士町に住んでいるか訪ねた所、Uターン者の平均は 25.67 年(標準偏差 17.885)、Iターン者の平均は 21.26 年(標準偏差 23.306)であった。なお、本調査の Iターンには結婚を機に移住してきた人なども含まれる。

図 4 は出身地別の年齢構成を示している。20-39歳の年代では、生まれた時から海士町に住んでいる人が 2 名(4.70%)、Uターン者が 11 名(12.40%)、Iターン者が 26 名(27.70%)と、Uターン者、Iターンの方が年齢が低いことがわかる。

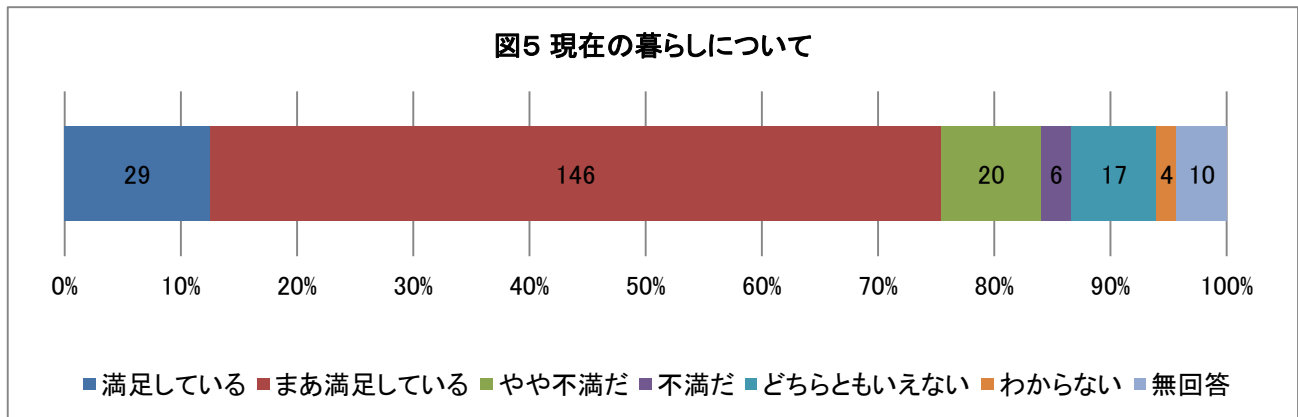


3.2 個別の回答の結果

ここからは、個別の回答結果を紹介する。

A1 主観的幸福 現在の生活にどの程度満足していますか

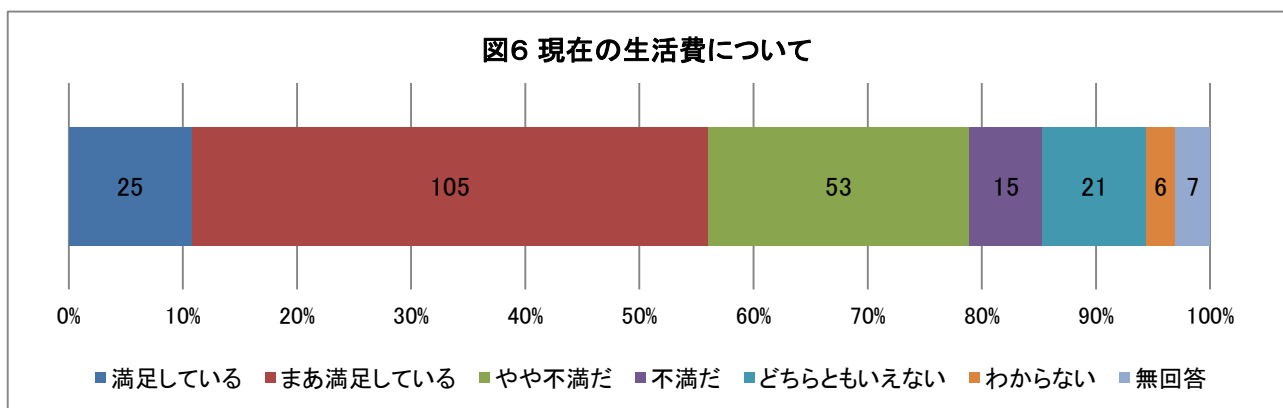
約75%が「満足している」と回答³



「あなたは、全体として、現在の暮らしにどの程度満足していますか」という質問については、「満足している」12.5%（29名）、「まあ満足している」63%（146名）、「やや不満だ」8.6%（20名）、「不満だ」2.6%（6名）、「どちらともいえない」7.3%（17名）、「わからない」1.7%（4名）、無回答4.3%（10名）という回答が得られた。

A2 生活水準 現在の生活費について、どの程度満足していますか

半数以上が「満足している」と回答

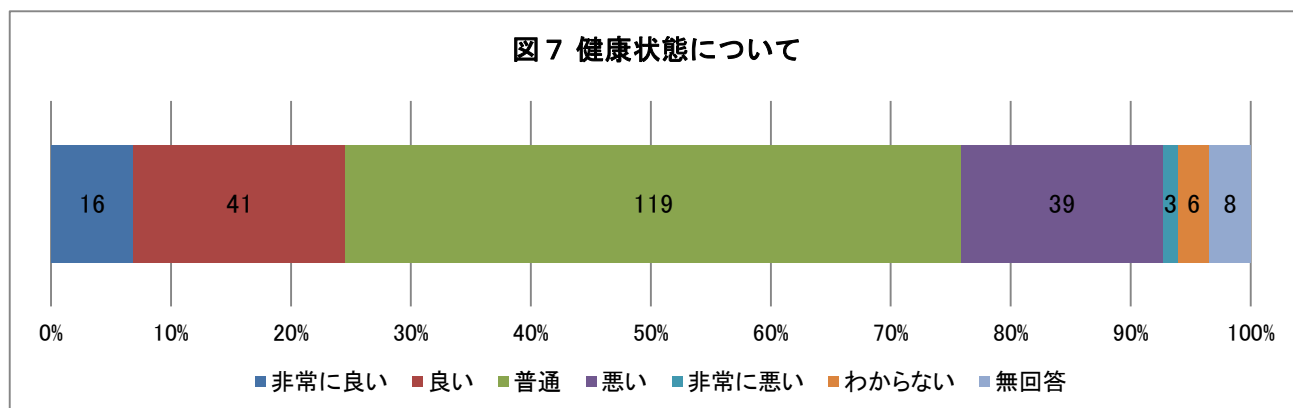


「あなたは、現在の生活費についてどの程度満足していますか」という質問からは、「満足している」10.8%（25名）「まあ満足している」45.2%（105名）、「やや不満だ」22.8%（53名）、「不満だ」6.5%（15名）、「どちらともいえない」9.1%（21名）、「わからない」2.6%（6名）、無回答3.0%（7名）という回答が得られた。半数以上が「満足」「まあ満足している」と回答している。

³ 「満足している」「まあ満足している」をあわせた回答。これ以降も同様にカテゴリーを統合して記す場合がある。

A3 健康 あなたの健康状態は、次の選択肢のうち、どれにあてはまりますか

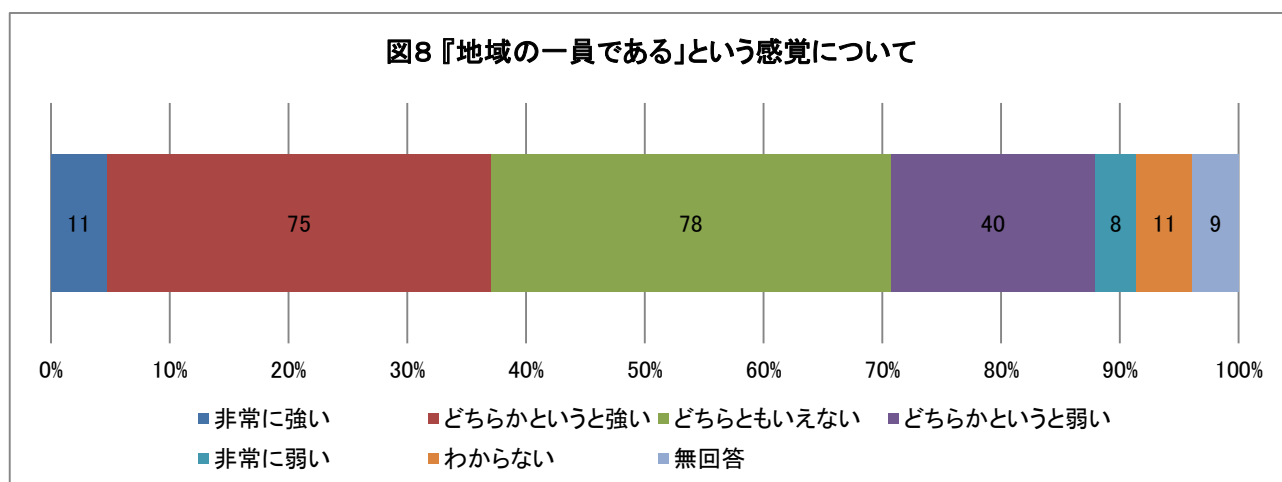
半数が「普通」と回答



健康状態については、「非常に良い」6.9%（16名）、「良い」17.7%（41名）、「普通」51.3%（119名）、「悪い」16.8%（39名）、「非常に悪い」1.3%（3名）、「わからない」2.6%（6名）、「無回答」3.4%（8名）、という回答が得られた。

A4 地域の活力 「地域の一員である」という感覚がどの程度ありますか

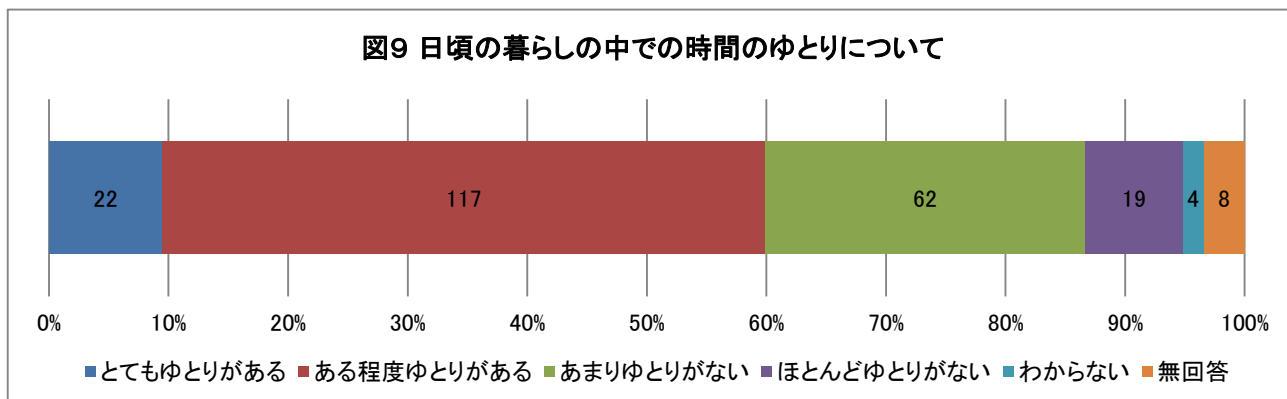
「強い」が約37%、ただし、「どちらともいえない」もほぼ同じ割合



地域の帰属意識について「地域の一員である」という感覚がどの程度あるかを尋ねた所、「非常に強い」4.7%（11名）、「どちらかという強い」32.3%（75名）、「どちらともいえない」33.8%（78名）、「どちらかという弱い」17.2%（40名）、「非常に弱い」3.4%（8名）、「わからない」4.7%（11名）、無回答3.9%（9名）という回答が得られた。「強い」「どちらかと言えば強い」を併せると「強い」が約37%を占め、「どちらかという弱い」「非常に弱い」の20.6%を大きく上回っている。ただし、「どちらともいえない」も33.8%と「強い」とほぼ同じ割合であった。

A5 時間の使い方とバランス日頃の暮らしの中で、休んだり、好きなことをしたりする時間のゆとりがありますか

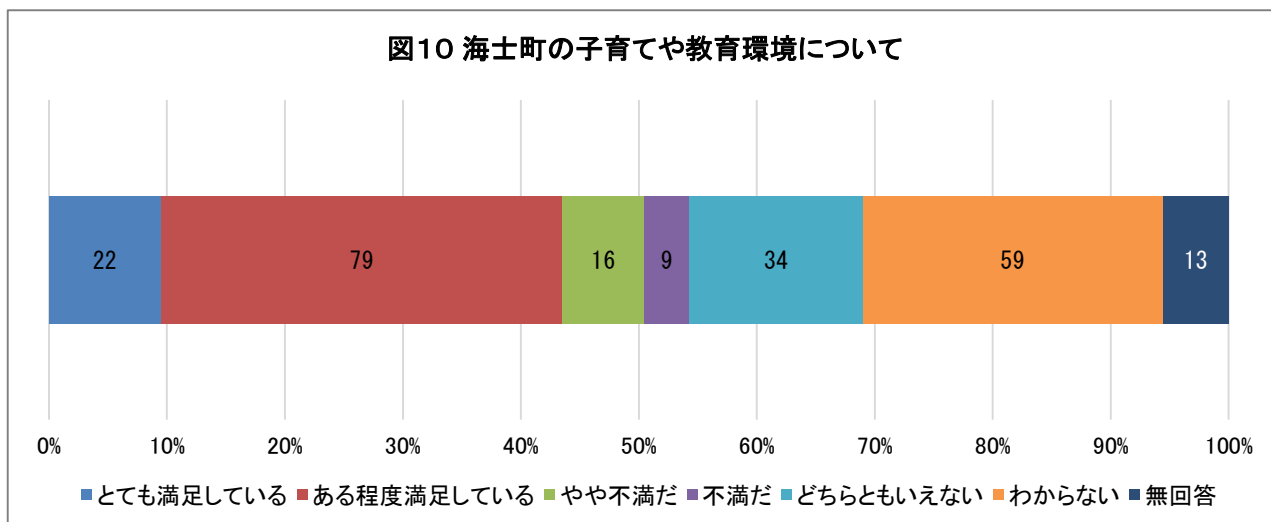
6割が「ゆとりがある」と回答



日頃の暮らしの中での時間のゆとりについては、「とてもゆとりがある」9.5%（22名）、「ある程度ゆとりがある」50.5%（117名）、「あまりゆとりがない」26.7%（62名）、「ほとんどゆとりがない」8.2%（19名）、「わからない」1.7%（4名）、無回答3.4%（8名）という回答が得られた。

A6 教育 海士町の子育てや教育環境について、どの程度満足していますか

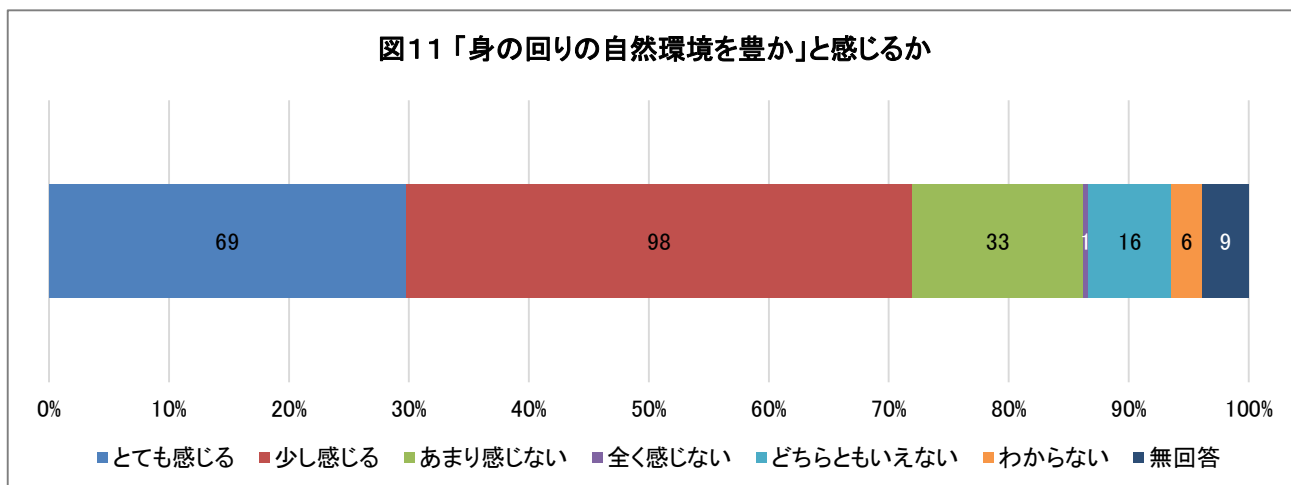
4割以上が「満足している」と回答



海士の子育てや教育環境については、「とても満足している」9.5%（22名）、「ある程度満足している」34.0%（79名）、「やや不満だ」6.9%（16名）、「不満だ」3.9%（9名）、「どちらともいえない」14.7%（34名）、「わからない」25.4%（59名）、無回答5.6%（13名）という回答が得られた。「わからない」という回答が多いことから、子育て世代以外には回答しにくい質問だったことが推測される。

A7 環境の多様性 「身の回りの自然環境を豊か」だと感じていますか

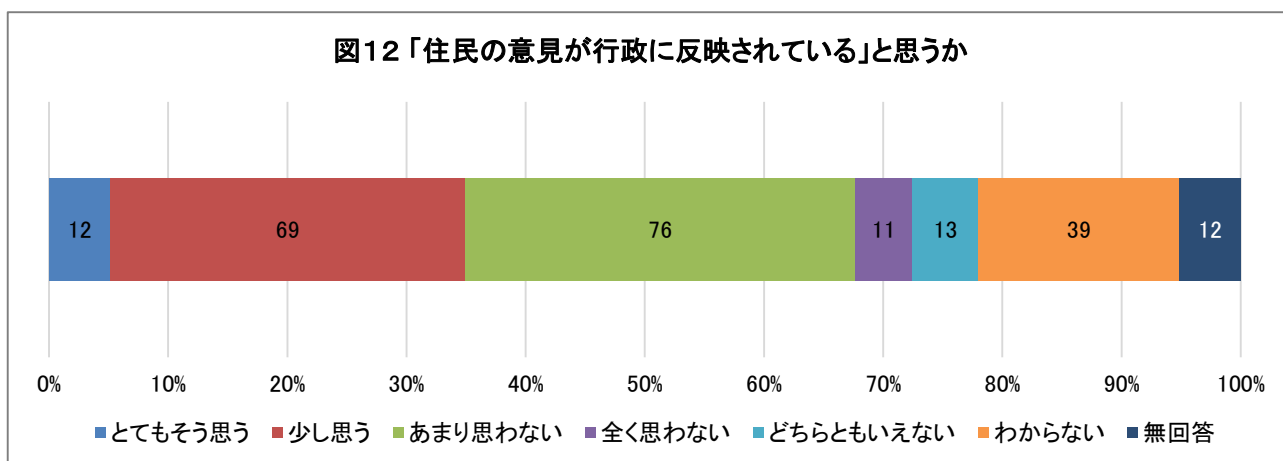
70%が「感じる」と回答



身の回りの自然環境を豊かと感じるかどうかについては、「とても感じる」29.7%（69名）、「少し感じる」42.3%（98名）、「あまり感じない」14.2%（33名）、「全く感じない」0.4%（1名）、「どちらともいえない」6.9%（16名）、「わからない」2.6%（6名）、無回答3.9%（9名）という回答が得られた。7割が「とても感じる」「少し感じる」と回答しており、「全く感じない」と回答したのはわずか1名であった。

A8 良い統治 住民の意見が行政に反映されていると思うか

「思う」と感じる住民と「思わない」と感じる住民がほぼ同数

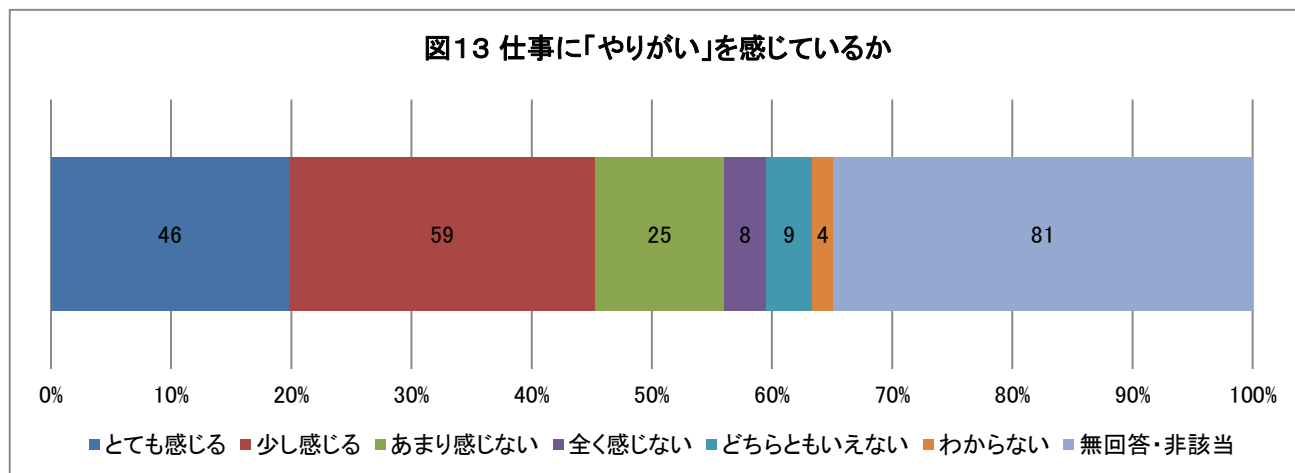


住民の意見が行政に反映されていると思うかについては、「とてもそう思う」5.2%（12名）、「少し思う」29.7%（69名）、「あまり思わない」32.8%（76名）、「全く思わない」4.7%（11名）、「どちらともいえない」5.6%（13名）、「わからない」16.8%（39名）、無回答5.2%（12名）という回答が得られた。

「思う」と感じる回答者と「思わない」と感じる回答者がほぼ同数であるほか、「わからない」との回答も約17%に達しており、見解が分かれる結果となった。

A9 仕事 仕事に「やりがい」を感じていますか

45%が「やりがいを感じる」と回答、「感じない」の7%を大きく上回る

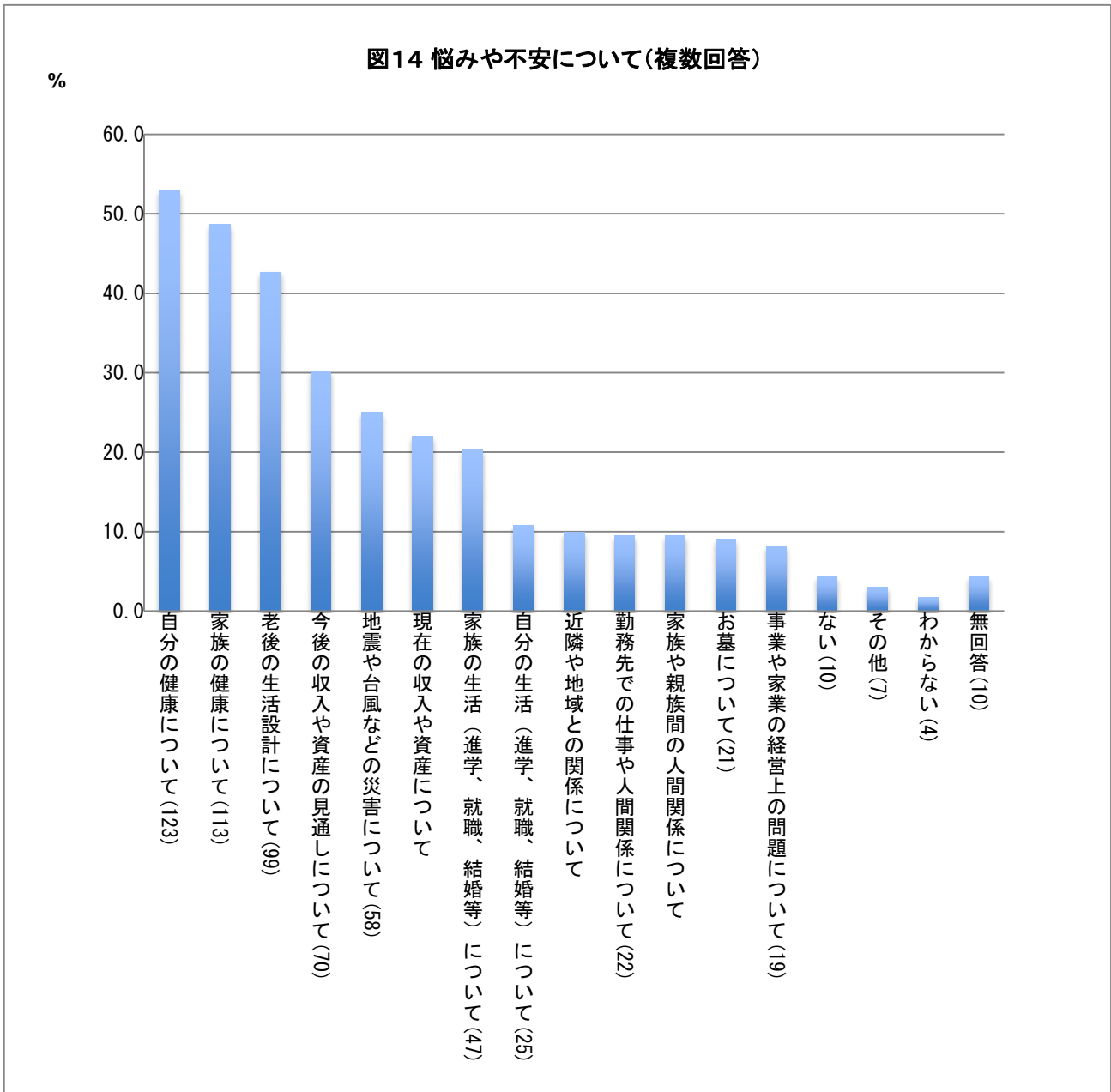


仕事にやりがいを感じているかどうかについては、「とても感じる」19.8% (46名)、「少し感じる」25.4% (59名)、「あまり感じない」10.8% (25名)、「全く感じない」3.4% (8名)、「どちらともいえない」3.9% (9名)、「わからない」1.7% (4名)、無回答・非該当 35.0% (81名) という回答が得られた。

45%が「とても感じる」「少し感じる」と回答しており、「あまり感じない」「全く感じない」の7%を大きく上回った。なお、無回答の割合が35%と高いが、これは質問文で「仕事をしている方はお答えください」と指示したため、現在仕事をしていない人（非該当者）が無回答となったためである。

A10 悩みや不安

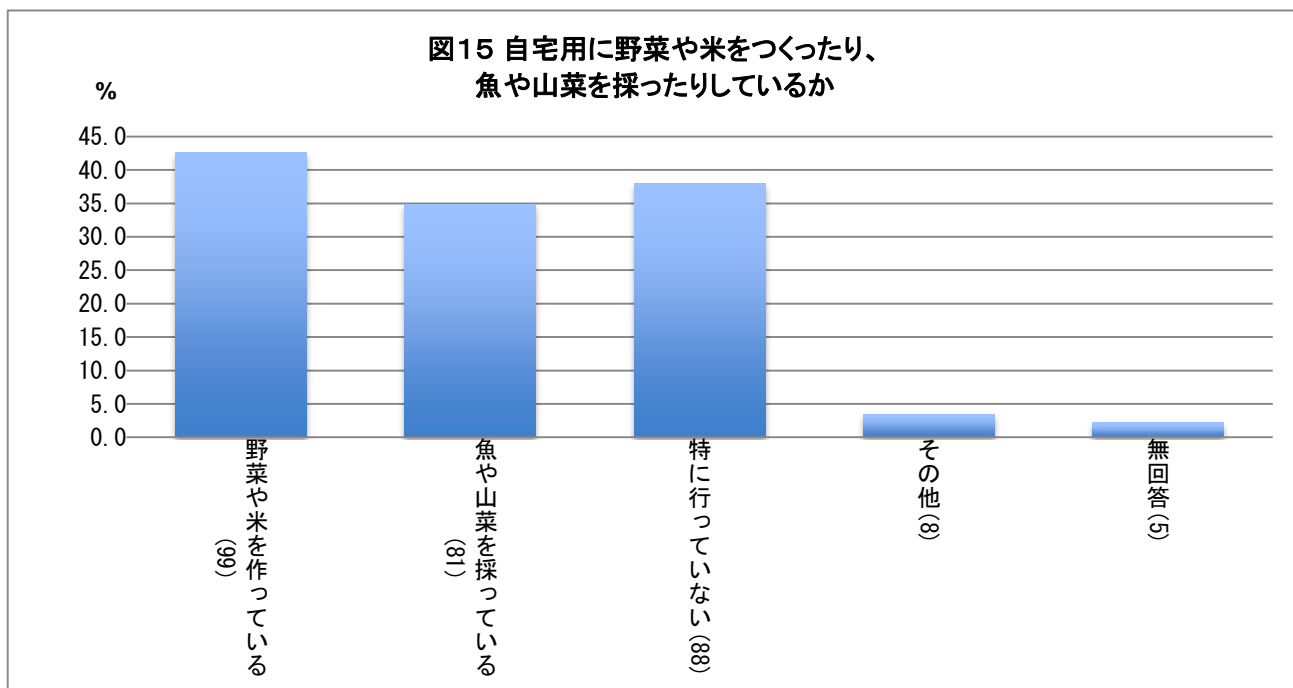
健康や生活に不安を抱える回答が多い一方、人間関係についての不安は少ない傾向



暮らしの中で感じている悩みや不安について、複数回答形式で尋ねた所、健康への不安は約 50%、老後の生活についての不安が約 40%と非常に高いことがわかった。その一方で人間関係については、「近隣や地域との関係について」、「勤務先での仕事や人間関係について」、「家族や親族間の人間関係について」、悩みや不安があると回答した人は 10%程度と非常に低いことがわかった。

B1 野菜をつくったり、魚を採ったりしているか

野菜や米をつくっている回答者は40%、魚や山菜を採る回答者は35%

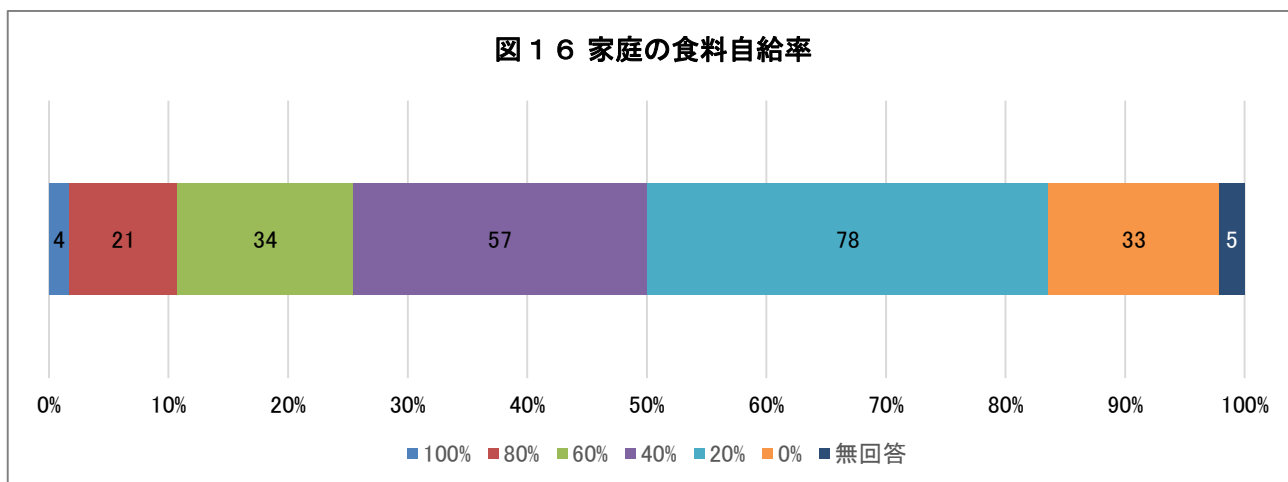


伝統的な自給自足の生活について複数回答で尋ねた所、「野菜や米を作っている」42.7% (99名)、「魚や山菜を採っている」34.9% (81名)、「特に行っていない」37.9% (88名)、「その他」3.4% (8名)、無回答2.2% (5名)との回答が得られた。

その他の自由回答記述には、「家族が行っている」、「友達を手伝っている」といったものがあった。

B2 家庭の食料自給率

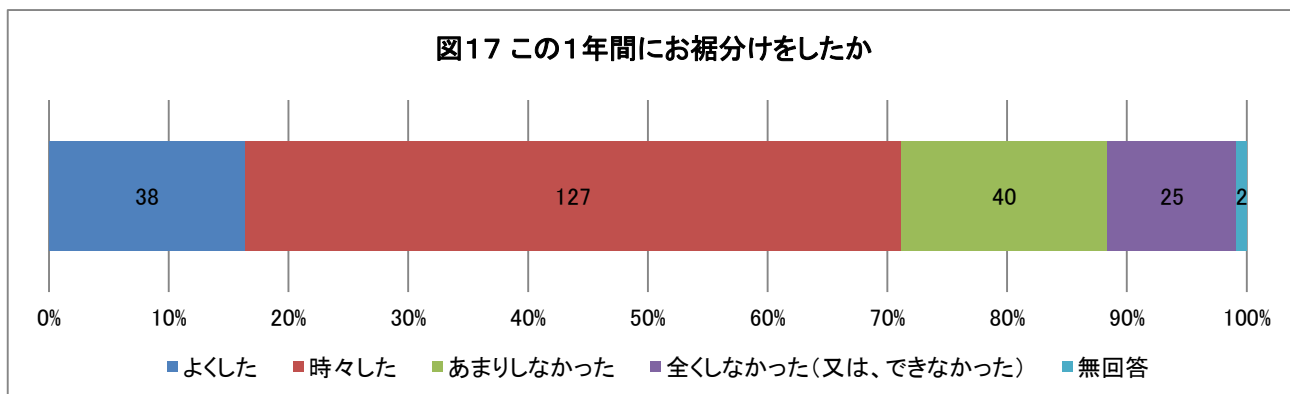
40%から100%の食料を自給しているという回答が半数を占めるが、0%から20%でも半数を占める



続いて、自身の家庭の食料自給率を尋ねた。自給率100%の回答は1.7% (4名)、自給率80%は9.1% (21名)、自給率60%は14.7% (34名)、自給率40%は24.6% (57名)、自給率20%は33.5% (78名)、自給率0%は14.2% (33名)、無回答は2.2% (5名)であった。食料自給率が40%以上という回答が半数を占める一方で、40%未満の選択肢(20%と0%)を選んだ回答者も約半数いた。

B3 お裾分け

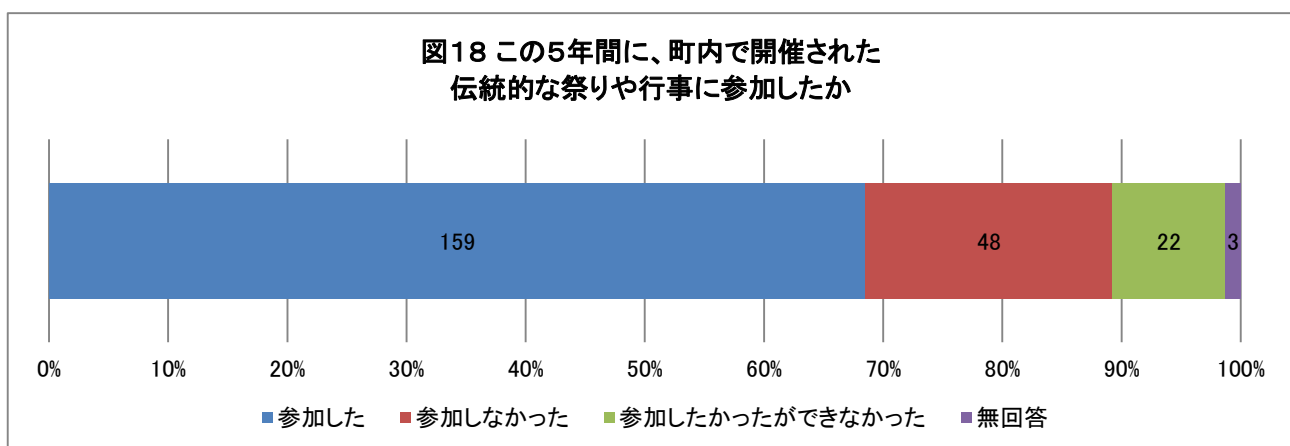
7割が「お裾分けをした」と回答



この1年間にお裾分けをしたかを尋ねた所、「よくした」16.4% (38名)、「時々した」54.7% (127名)、「あまりしなかった」17.2% (40名)、「全くしなかった(又は、できなかった)」10.8% (25名)、無回答0.9% (2名)との回答が得られた。「よくした」「時々した」を併せると7割以上の人が、この1年間にお裾分けをしていることがわかる。

B4 町内の伝統的な行事への参加

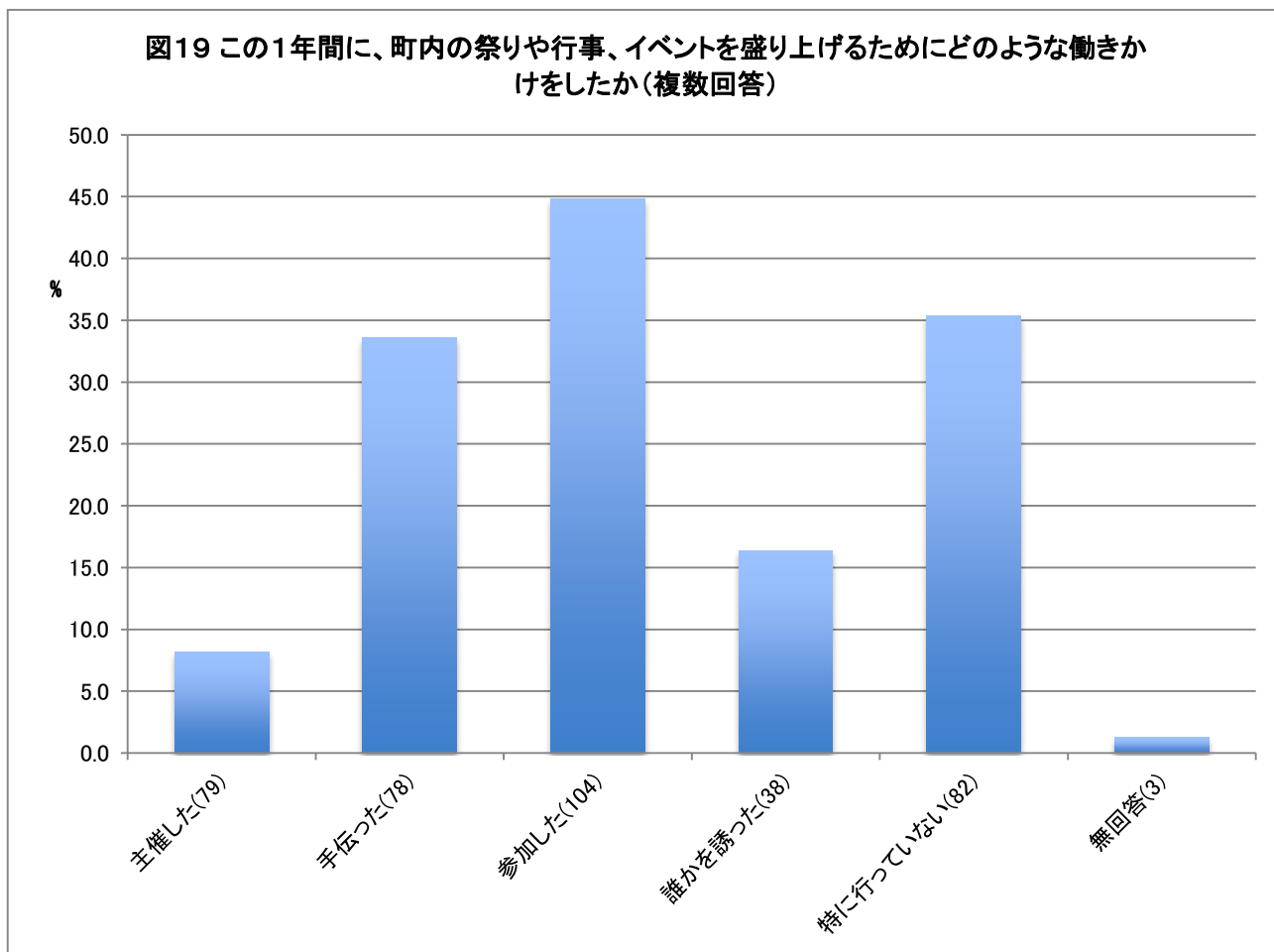
約7割が「参加した」と回答



この5年間に町内の伝統的な祭りや行事に参加したかを尋ねた所、「参加した」68.5% (159名)、「参加しなかった」20.7% (48名)、「参加したかったができなかった」9.5% (22名)、無回答1.3% (3名)と、約7割が「参加した」と回答している。

B5 町内の祭りや行事を盛り上げるための働きかけ

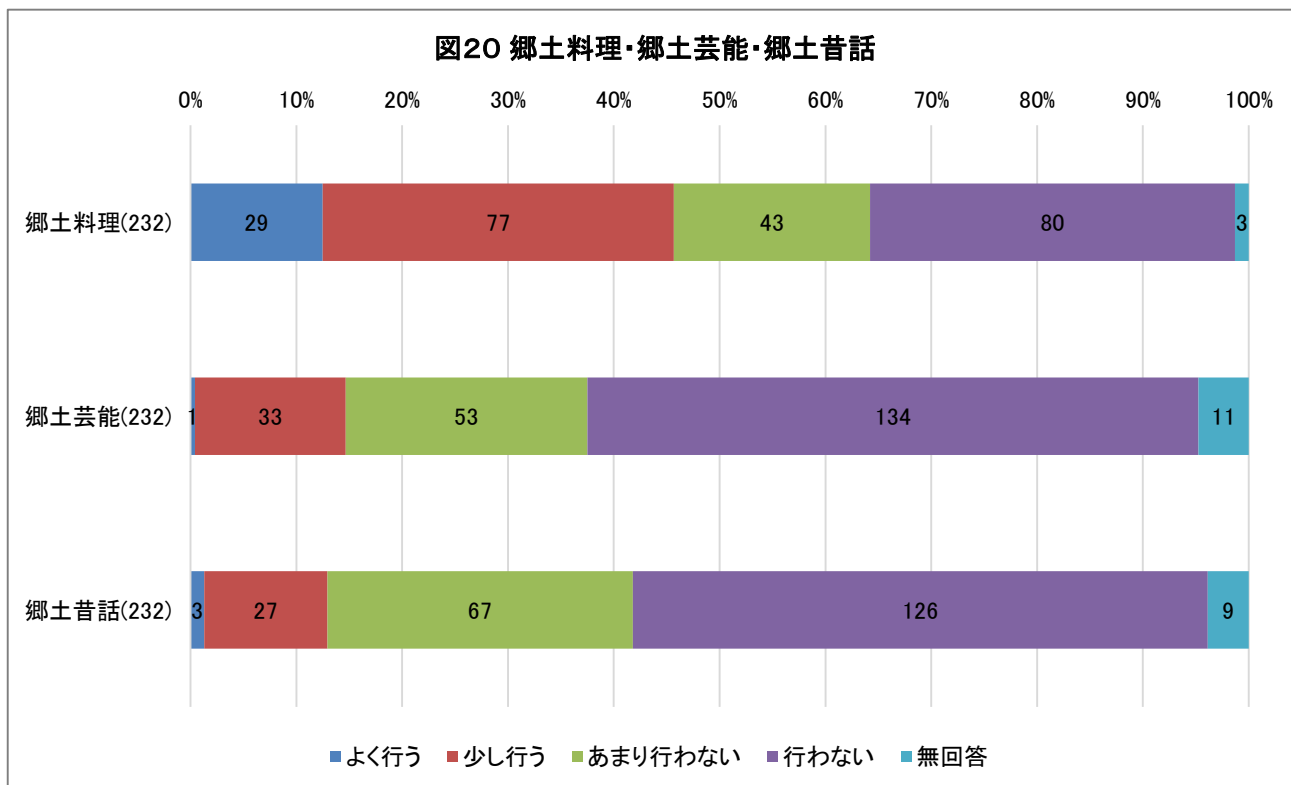
参加は約 45%、手伝いは約 35%



続いてこの1年間に、町内の祭りや行事、イベントを盛り上げるためにどのような働きかけを行ったのか複数回答で尋ねた所。最も多かったのは「参加した」の44.8%（104名）であり、「手伝った」という回答も33.6%（78名）あった。「主催した」回答者も8.2%（79名）と1割近い。「特に行ってない」回答者は35.3%（82名）であり、「手伝った」回答者との数とほぼ同数であった。

B6 郷土料理・郷土芸能・郷土昔話の実践

郷土料理は45%が「作る」、郷土芸能と郷土昔話を行ったり話したりする人は10%台



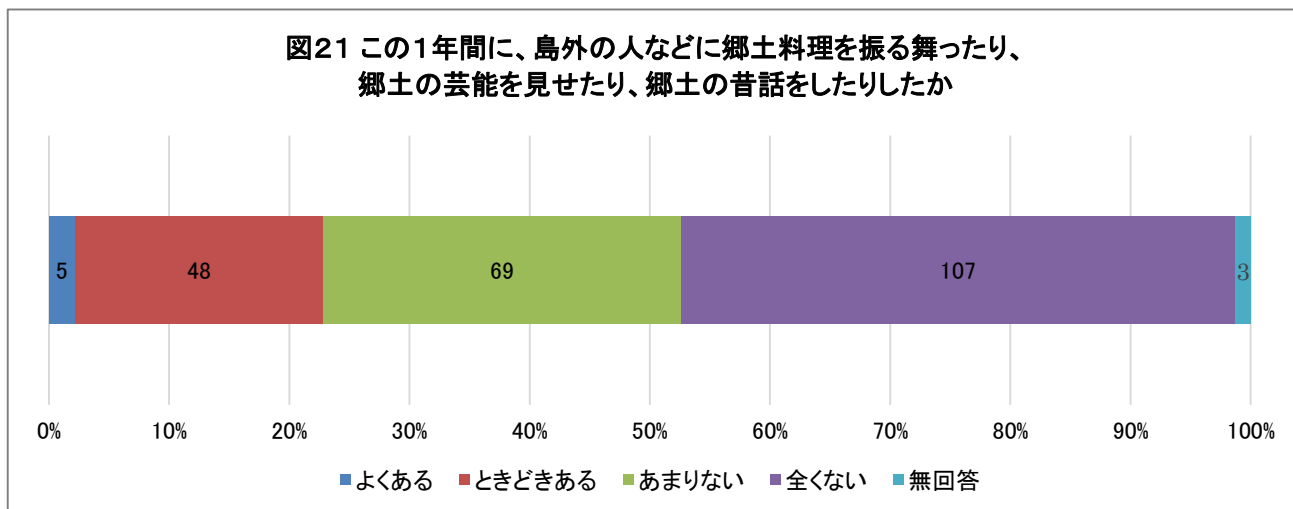
「郷土料理を作るか」という質問に対し、「よく作る」と回答したのは12.5% (29名)、「少し作る」は33.2% (77名)、「あまり作らない」は18.5% (43名)、「作らない」は34.5% (80名)、無回答は1.3% (3名)であった。「よく作る」「少し作る」を併せて45%いた。

「郷土芸能をするか」という質問に対しては、「よくする」0.4% (1名)、「少しする」14.2% (33名)、「あまりしない」22.8% (53名)、「しない」57.9% (134名)、無回答4.7% (11名)という回答が得られた。郷土料理に比べて、実践する人が少ないことがわかる。

「郷土昔話をするか」という質問に対しても、「よく話す」1.3% (3名)、「少し話す」11.6% (27名)、「あまり話さない」28.9% (67名)、「話さない」54.3% (126名)、無回答3.9% (9名)と、郷土芸能と同様、実践する人が少ない傾向が見られた。

B7 島外の人などへの郷土料理・郷土芸能・郷土昔話の披露

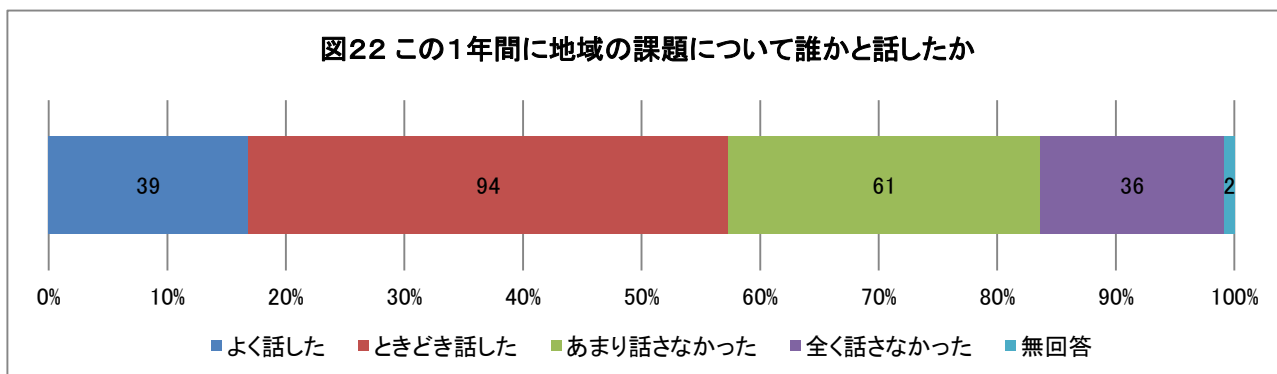
2割が「ある」と回答



この1年間に島外の人や新たに島に来た人に、郷土料理をふるまったり、郷土の芸能を見せたり、郷土の昔話をしたりしたことがあるかを尋ねた。その結果、「よくある」は2.2%（5名）、「ときどきある」20.7%（48名）、「あまりない」29.7%（69名）、「全くない」46.1%（107名）、無回答1.3%（3名）という回答が得られた。

C1 地域の課題について誰かと話したか

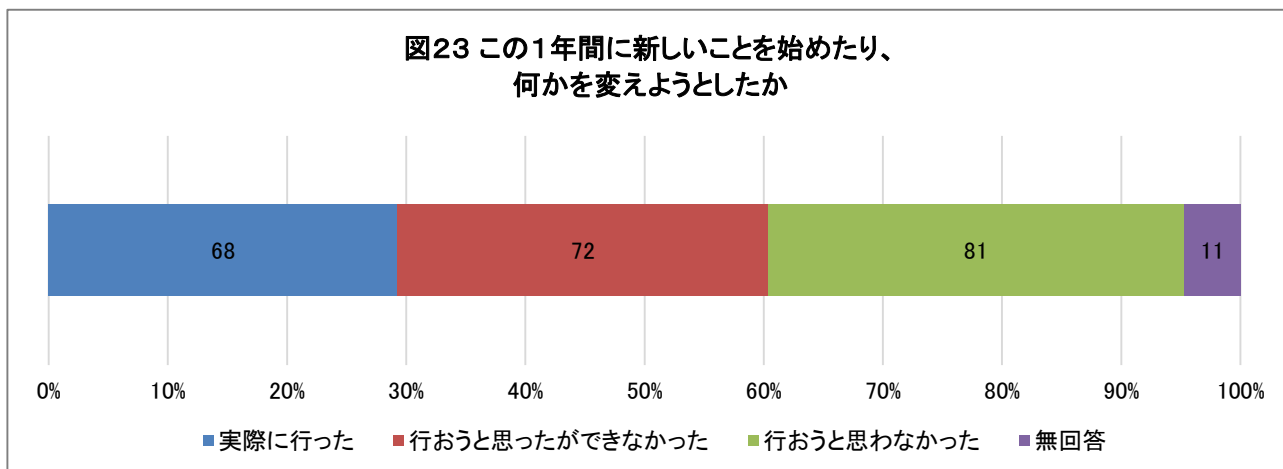
6割近くが「話した」と回答



この1年間に、地域の課題について誰かと話したかを尋ねた所、「よく話した」16.8%（39名）、「ときどき話した」40.5%（94名）、「あまり話さなかった」26.3%（61名）、「全く話さなかった」15.5%（36名）、無回答0.9%（2名）との回答が得られた。「よく話した」「ときどき話した」を併せると、57.3%と6割近くが、地域の課題について誰かと話していることがわかる。

C2 挑戦をしたか

3割が「行った」、3割が「行おうと思った」

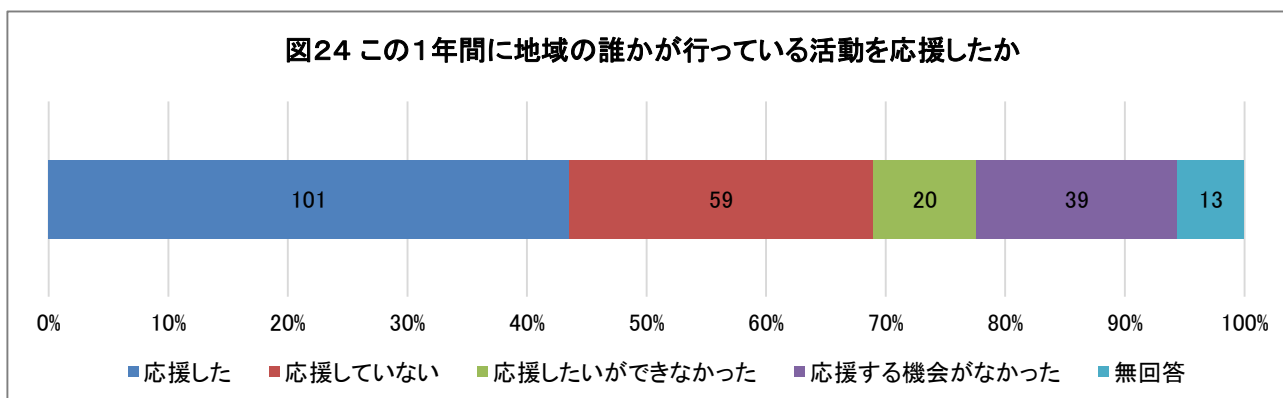


この1年間になにか新しいことをやってみたり、何かを変えようとしてみたことがあるかを尋ねた所、「実際にいった」29.3%（68名）、「行おうと思ったができなかった」31.0%（72名）、「行おうと思わなかった」35%（81名）、無回答4.7%（11名）との回答が得られた。

また「実際にいった」と回答した人を対象に、その内容を尋ねた所、ボランティア、サークル活動などの趣味を始めたという回答、仕事のやり方を変えるなど、仕事に関する回答、畑を始める、倉庫や物置の整備などのDIY（出来ることは自分で行なうこと）系の回答がみられた。また、島全体の未来に関わるような挑戦としては、島の在宅看取りの支援、本土に外注処理をしていること内部化する取り組み、竹の農業や燃料への利用、地域で未使用の資源を活用するための異業種間での連携、仕事を興し働ける場を作る手伝いといった回答があった。

C3 活動を応援したか

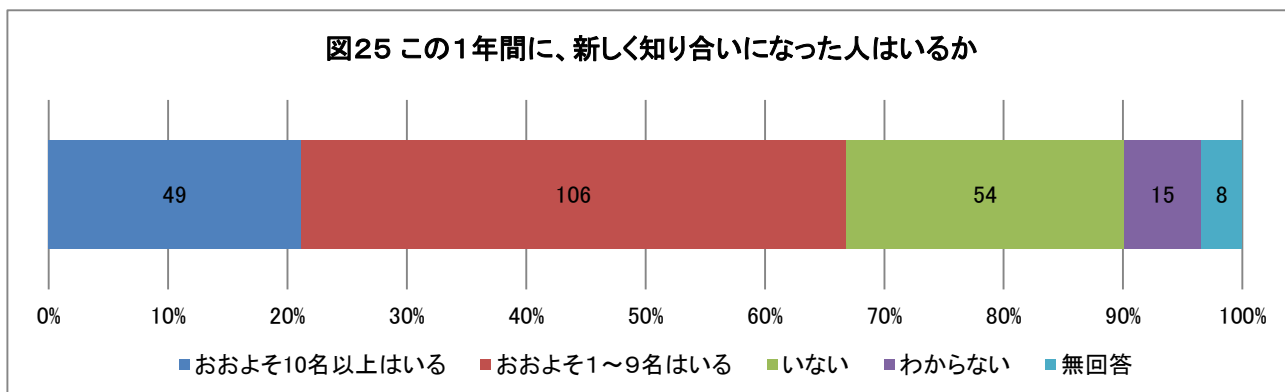
4割が「応援した」



この1年間に、地域の誰かが行っている活動を応援したかを尋ねたところ、「応援した」43.6%（101名）、「応援していない」25.4%（59名）、「応援したいができなかった」8.6%（20名）、「応援する機会がなかった」16.8%（39名）、無回答5.6%（13名）との回答が得られた。4割以上が応援をしていることがわかる。

C4 この1年に新たに知り合った人

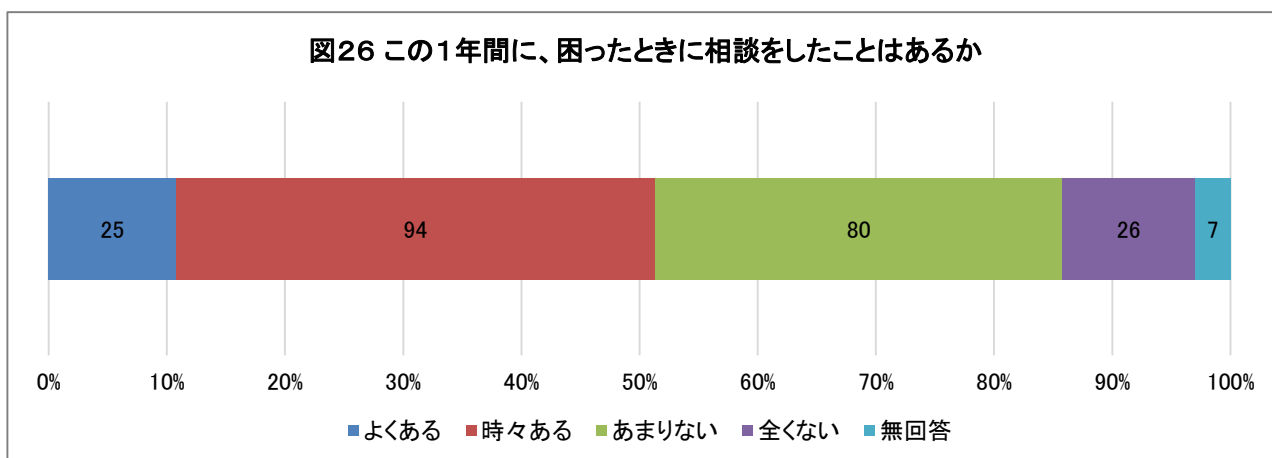
2割が「10名以上はいる」と回答



この1年間に新たに知り合った人の人数を尋ねた所、「おおよそ10名以上はいる」との回答は21.1%（49名）、「おおよそ1～9名はいる」45.7%（106名）、「いない」23.3%（54名）、「わからない」6.5%（15名）、無回答3.4%（8名）との回答が得られた。10人以上いるという回答者が2割を占めた。

C5 この1年間に困ったときに相談をしたことがあるか

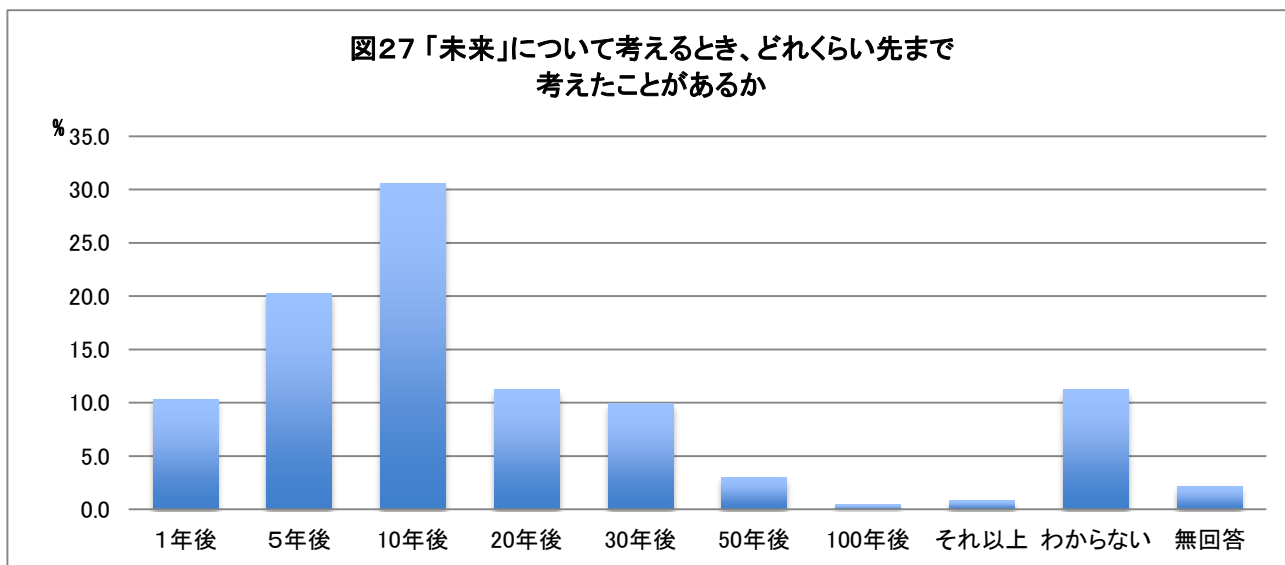
半数が「ある」と回答



この1年間に、何か困ったことがあったとき、誰かに相談したり、助けを求めたりしたことがあるかを尋ねた所、「よくある」10.8%（25名）、「時々ある」40.5%（94名）、「あまりない」34.5%（80名）、「全くない」11.2%（26名）、無回答3.0%（7名）との回答が得られた。「よくある」「時々ある」を併せると半数の回答者が「ある」と回答している。

C6 未来について考える際の時間軸の長さ

「10年後」が3割と最も多い、「100年以上」の人も3名

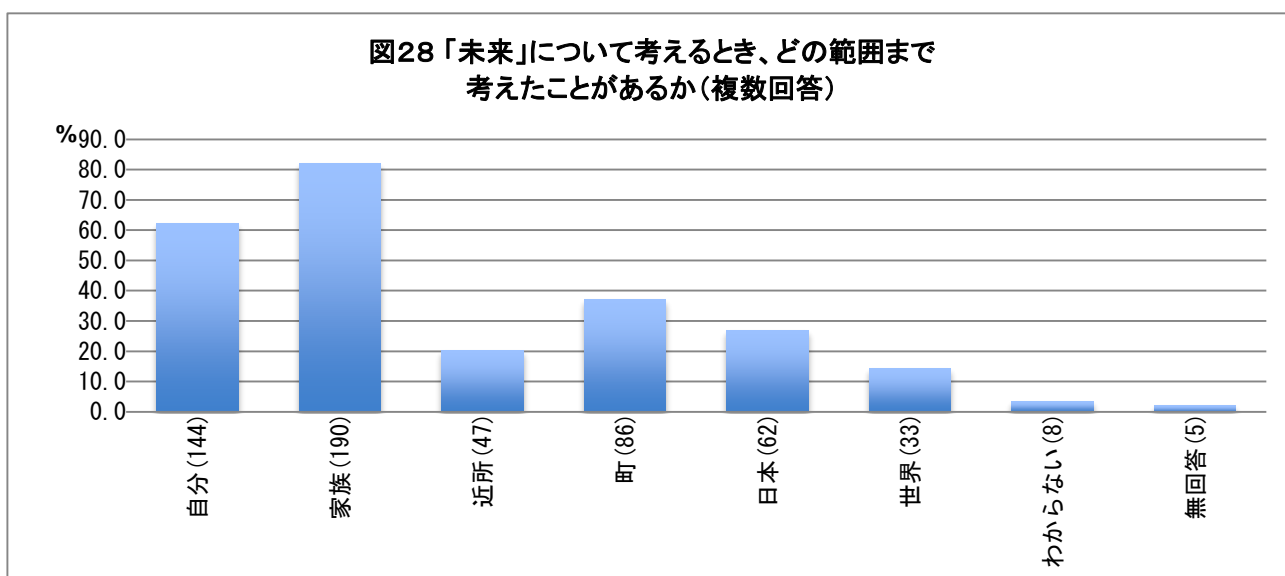


「未来」について考える時に、どのくらい先の未来まで考えたことがあるかを尋ねた所、1年後は10.3% (24名)、5年後は20.3% (47名)、10年後は30.6% (71名)、20年後は11.2% (26名)、30年後は9.9% (23名)、50年後は3.0% (7名)、100年後は0.4% (1名)「それ以上」は0.9% (2名)、「わからない」は11.2% (26名)、無回答は2.2% (5名)との回答が得られた、

10年後が最も多く3割近い回答者が選択している。次いで5年後、20年後を選ぶ回答者が多い。100年以上を選ぶ回答者も3名いた。

C7 「未来」について考えるときの範囲

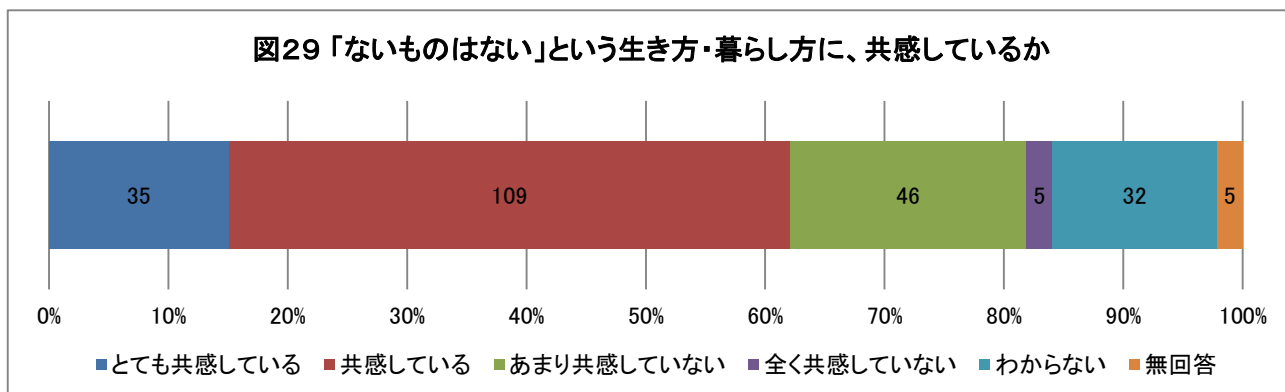
「家族」が最も多く8割、次いで「自分」が6割、「町」が3割近く



次いで未来について考えるとき、どの範囲まで考えるかを複数回答で尋ねた所、「家族」が最も多く81.9% (190名) だった。2番めは「自分」の62.1% (144名)、3番めは「町」の37.1%だった。

D1 「ないものはない」という生き方・暮らし方への共感

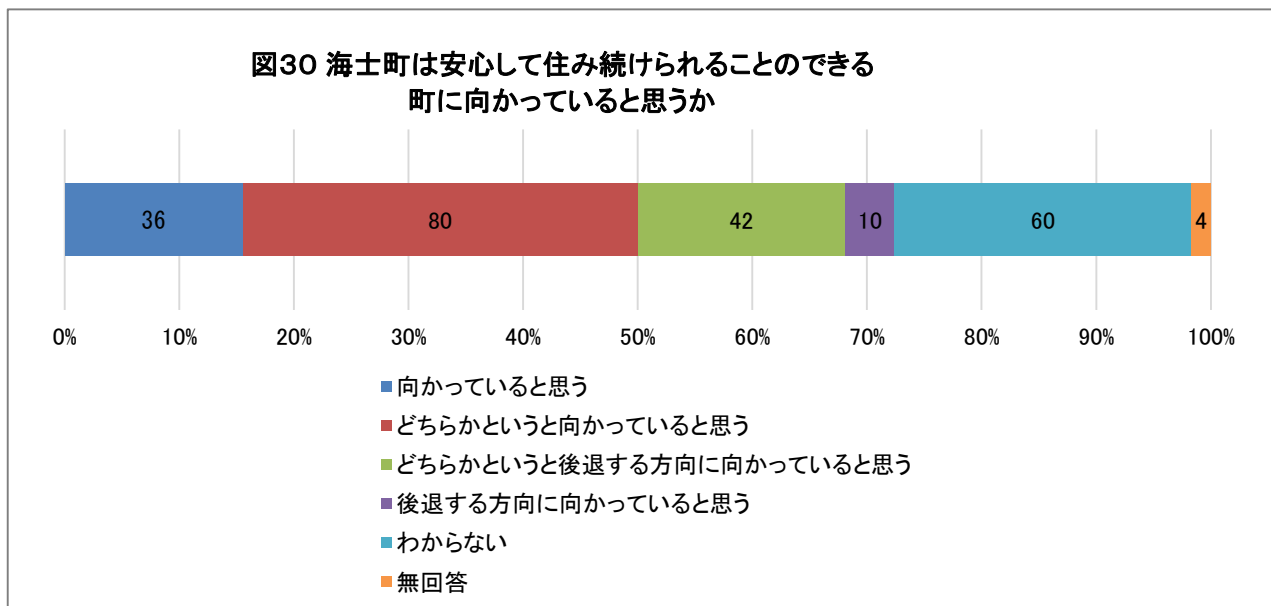
6割が「共感している」と回答、「共感していない」は2割



「ないものはない」という生き方・暮らし方に共感をしているかを尋ねた所、「とても共感している」15.1%（35人）、「共感している」46.9%（109人）、「あまり共感していない」19.8%（46人）、「全く共感していない」2.2%（5人）、「わからない」13.8%（32人）、無回答2.2%（5人）との回答が得られた。「とても共感している」「共感している」を併せると6割の回答者が共感していることになる。

D2 海士町は安心して住み続けられる町に向かっていると思うか

半数が「向かっていると思う」、約25%は「わからない」



海士町は安心して住み続けられる町に向かっていると思うかを尋ねた所、「向かっていると思う」15.5%（36人）、「どちらかというと思う」34.5%（80人）、「どちらかという後退する方向に向かっていると思う」18.1%（42人）、「後退する方向に向かっていると思う」4.3%（10人）、「わからない」25.9%（60人）、無回答1.7%（4人）との回答が得られた。全体では半数が「向かっていると思う」「どちらかといえば向かっていると思う」と回答している。

わがトコ・わがコト調査

問A1

あなたは、全体として、現在の暮らしにどの程度満足していますか。最もよく当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | | |
|-----------|--------------|----------|
| 1. 満足している | 2. まあ満足している | 3. やや不満だ |
| 4. 不満だ | 5. どちらともいえない | 6. わからない |

問A2

あなたは、現在の生活費について、どの程度満足していますか。最もよく当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | | |
|-----------|--------------|----------|
| 1. 満足している | 2. まあ満足している | 3. やや不満だ |
| 4. 不満だ | 5. どちらともいえない | 6. わからない |

問A3

あなたの健康状態は、次の選択肢のうち、どれに当てはまりますか。最もよく当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 非常に悪い | 2. 悪い | 3. 普通 |
| 4. 良い | 5. 非常に良い | 6. わからない |

問A4

あなたは、「地域の一員である」という感覚がどの程度ありますか。最もよく当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. 非常に弱い | 2. どちらかという弱い | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかという強い | 5. 非常に強い | 6. わからない |

問A5

あなたは、日頃の暮らしの中で、休んだり、好きなことをしたりする時間のゆとりがありますか。それとも、仕事や家事、学業などに精一杯で時間のゆとりがありませんか。最もよく当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | | |
|---------------|---------------|--------------|
| 1. とてもゆとりがある | 2. ある程度ゆとりがある | 3. あまりゆとりがない |
| 4. ほとんどゆとりがない | 5. わからない | |

次に、先ほど「1. 実際に行った」と回答した方にお尋ねします。それはどのようなことでしたか。複数ある場合は、もっとも印象に残っているものを一つ教えてください。

問C3

あなたは、この1年間に、地域の誰かが行っている活動を応援しましたか。それともしませんでしたか。普段の暮らしや仕事など、どの場面でも構いません。最もよく当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

なお、ここでいう応援とは、具体的な支援だけでなく、声援（声掛け）も含まれます。

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 応援した | 2. 応援していない |
| 3. 応援したいができなかった | 4. 応援する機会がなかった |

問C4

あなたは、この1年間に、新しく知り合いになった人はいましたか。それともいませんでしたか。普段の暮らしや仕事など、どの場面でも構いません。最もよく当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. おおよそ10名以上はいる | 2. おおよそ1～9名はいる |
| 3. いない | 4. わからない |

問C5

あなたは、この1年間に、何か困ったことがあったとき、誰かに相談したり、助けを求めたりしたことはありますか。それともありませんか。普段の暮らしや仕事など、どの場面でも構いません。最もよく当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | | | |
|---------|---------|----------|---------|
| 1. よくある | 2. 時々ある | 3. あまりない | 4. 全くない |
|---------|---------|----------|---------|

問C6

あなたは、「未来」について考えるとき、どのくらい先の「未来」まで考えたことがありますか。おおよそで構いませんので、最もよく当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | | |
|----------|---------|----------|
| 1. 1年後 | 2. 5年後 | 3. 10年後 |
| 4. 20年後 | 5. 30年後 | 6. 50年後 |
| 7. 100年後 | 8. それ以上 | 9. わからない |

問C7

あなたは、「未来」について考えるとき、どの「範囲」のことまで考えたことがありますか。当てはまるものをすべて選んで○をつけてください。

- | | | |
|----------|-------|-------|
| 1. 自分 | 2. 家族 | 3. 近所 |
| 4. 町 | 5. 日本 | 6. 世界 |
| 7. わからない | | |

問D1

海士町が掲げる「ないものはない」は、次の2つの意味をもっています。

- ①なくてよい：都会のように便利なものはなくてもよい
- ②すべてある：生きていくために大切なものはすべてここにある
ないものはあるものの中から自分達で創っていく

あなたは、「ないものはない」という生き方・暮らし方に、どの程度、共感していますか。それとも、共感していませんか。最もよく当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- 1. とても共感している
- 4. 全く共感していない
- 2. 共感している
- 5. わからない
- 3. あまり共感していない

問D2

海士町は安心して住みつづけることのできる町に向かっていると思いますか。それとも後退する方向に向かっていると思いますか。最もよく当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

1. 向かっていると思う
2. どちらかというに向かっていると思う
3. どちらかというの後退する方向に向かっていると思う
4. 後退する方向に向かっていると思う
5. わからない

次に、そのように回答した理由について教えてください。

最後に、あなた自身のことについてお伺いします。

(1) 性別を教えてください。

1. 男性

2. 女性

(2) 当てはまる年齢を教えてください。

1. 20～39 歳

2. 40～59 歳

3. 60～79 歳

4. 80 歳以

上

(3) 生まれた時から海士町にお住まいなのか、ある時期は離れていて戻ってきたのか、海士町以外から移住してきたのか、について教えてください。戻ってきた人や移住してきた人は、何年前に海士町に住み始めたのかについても、おおよそで構いませんので、[] に数字を記入して下さい。

1. 生まれた時から海士町に住んでいる

2. 海士町で生まれて離れていたが、[] 年前に戻ってきた (Uターン)

3. 海士町以外で生まれたが、[] 年前に移住した (Iターン)

アンケートは以上となります。質問にお答え頂き、誠にありがとうございました。

なお、調査結果は統計的に処理し、お名前や年齢・性別、ご意見などを個別に公表するなどしてご迷惑をお掛けすることはいたしません。また、調査結果は、まちづくり以外の目的で使用することはありません。